

大宮南ロータリークラブ週報

VOL. 44 NO. 7 (9. 9)

会長 藤井フヂ子 副会長 高橋 正雄・斉藤 博一 幹事 黒白 秀之

事務局・さいたま市大宮区下町 2-15-8 コーポ KEN406 TEL : 048-645-0180 FAX : 048-648-2188

2021-2022 年度 RI テーマ「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」

Rotary



(SERVE TO CHANGE LIVE)

大宮南 RC 運営方針「明るく 楽しく 元気に！！ 奉仕」

大宮南ロータリークラブ
第二〇五九回例会次第
開会点鐘
ロータリーソング唱和
ロータリーの目的唱和
ターゲット唱和・四つのテスト斉唱
(オンラインの為に割愛)
会長挨拶・報告
幹事報告
委員長・地区出向者報告
会員卓話
奥隅江里子会員
小平 啓介会員
柴田 覚会員
出席報告・ニコニコBOX 報告
次回例会案内
閉会点鐘

・会長挨拶・報告

藤井フヂ子会長

皆様こんばんは。初めての Zoom 夜間例会です。綺麗に映っていますか。お見えにならない方もありますが、今日は私自宅から黒白幹事の所まで歩いてきました。なんと 4667



歩です。黒白幹事もずっと歩いているのですが今日はお二階にいらっしやいます。こちらは今野本会員と阪会員と 3 人でやっております。今日は奥隅会員と小平会員と柴田会員の卓話を聞くということで、とても楽しみにしています。

先日橋本会員と野本会員と私で大口補助金の事で白菊苑とやどかりの里と損保のそよ風、アルソックの会社に行つて参りました。ご報告申し上げます。これから成功するように皆さんのご協力をよろしく願います。

幹事報告

黒白 秀之幹事

☆地区より

- ・熱海土砂災害義援金募金のお礼及び報告
- ・国際奉仕部門セミナー

9 月 11 日 (土) セミナー一点鐘 13 : 00
セミナー終鐘 15 : 10

Zoom にて開催

会員卓話

奥隅江里子会員

小平 啓介会員

コーディネーター 柴田 覚会員

奥隅江里子会員 上尾市で食に関する問屋を営んでおります。明治元年に初代奥隅喜十郎という人が絹織物工場として創立いたしました。



蚕を飼うために桑の木を植えその桑の木に与える肥料を売っておりましたので、農家に肥料を売ると豚などのエサ・飼料も扱うようになって、絹織物だけではなく肥料・飼料の方が多くなっていきました。父の代にラーメンの日高屋とお付き合いがあり、日高屋が上場されると日高屋にくっついて食品の方がすごく伸び、現在は肥料・飼料が半分食品一般が半分という構成になっています。6 年位前に私が社長になり、食に関する事を川上から川下まで一括で独自産業のように適応できるような問屋とし今後はやっていきたいと考えまして、互いの情報を提供することによって互いのメリットを生めるよう活動しております。

柴田覚会員 150年余りの歴史ある会社へのプレッシャーがあったと思うのですが。



奥隅 社長になってから初めて色々なことを知りびっくりしましたので、特にプレッシャーはありませんでした。専業主婦をしていて父が亡くなったのを機にこちらに戻ってきましたので、コピーの仕方も分からない状態から始めました。

柴田 先代からの社員さんがいらっしゃると思いますが、いかがですか。

奥隅 彼らの持っている知識やノウハウは物凄く有難かったです。長い歴史の中変遷してきているので、基本食に関するのですが、時代に添って進化し、生き残ってきているという感じはします。

柴田 小平さんもお家の仕事を引き継いでいますよね、ある期間中は別の会社に勤められていて戻ってきたということですが、それは始めからの計画だったのですか

小平啓介会員 子供の頃は小平材木店という材木の卸をしている会社という環境で育ちました。学生の頃から選



択肢はなく材木屋を継ぐものだと思って育ちましたので家業を継ぐことに関して抵抗はありませんでした。父の考えで偏らないように他所の世界を見て来いと学校を出て2、3年外の世界で働く予定でしたが、服部精工での仕事が面白くなってしまい気付いたら10年近く経っていました。これは戻るところがなくなってしまうと思い、仕事は楽しかったのですが帰ることにしました。

柴田 現在の仕事と全然違うのでなぜその仕事を選んだのかと思っていました。学生時代は何かサークルなどに入っていたのですか？

小平 青山ということで一括りに柴田さんは考えておられますが、生まれも育ちも全く違い、私は雑草と言いましょか大学から入った人間ですので、生え抜きかどうかがとても大切です。高校時代はラグビーをやっていましたが大学でラグビーをやるほどのスキルはなく、野球は楽しんでやっています。思い出と言えばずっと悲しい思い出ばかりで、振られてばかりでした。

柴田 実際お父様の仕事に入って自分の思っていることと現実というのはかなりギャップがあったのではないですか？

小平 建築屋というよりは代々受け継いできた山の木を皆さんに使ってもらいたいと考えており、私の背景を今見ていただくとわかると思うのですが、これはひい爺さんから引き継いでいるものを使っています。是非木の家に住んでいただきたいと思っており、父は量を多く（質が悪いという訳ではありませんが）考えており、私の年代は失われた20年を経験しているので皆さんには木の家の良さを知ってもらいたいと願っています。私は子供に恵まれなかったので、会社を大切にしていきたいと思っています。ロータリーに入ってから人の輪が増え仕事場以外で考える時間ができたことはある種のストレス解消になっています。

柴田 1971年に丸井に入社し、その前は体育寮で生活していましたので全く別の世界に入りました。丸井で18年強勤めてバブルの時に自分の考えと会社の考えが乖離してきたので辞めました。辞めた時は下の子はまだ2歳、真ん中が小2、上が中1でした。普通だったらこれからの生活はどうするかと思うのですが、入った会社で色々な補償があり、ほとんど借金の無い状態でした。5年位何も所得がなくてもやっていた位の蓄えはありました。RCに入ったのは59歳、その当時その年齢で入る人は少なかったです。仕事一本だったものがRCに入ることによって色々な職種・年齢の人達と話す機会があり、サラリーマン時代とは全く違った人達と付き合うことになりました。それが私にとってものすごいプラスになりました。色々な考え方を持っている方がいらっしゃるので、誰か一人でも目標にする方を作ることでロータリーの見方も変わってくると思います。

会員数 39名	出席者数 20名	出席率 54.05%
欠席した免除適用を受けた会員数 2名		
ニコニコBOX		¥0
本日の司会者	塚田 拓也 SAA	
本日の撮影者	高橋 満広 公共イメージ推進委員長	

